

平成27年度 糸魚川市道徳部 活動報告

部長 村山 学

1 活動の概要

文部科学省委託事業「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」を受けた糸魚川市立能生小学校の授業研究会への参加を通しながら、道徳の教科化に伴う道徳の授業づくりについて研修を深め、自校の道徳教育の改善に役立てる。

2 研究主題

道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を高める道徳授業の工夫と改善

3 活動の実際

- 授業研究会、協議会の開催
- 授業づくり研修会（外部講師の招聘）の開催
…玉川大学客員教授 後藤 忠 様

4 研修の内容

- ① 授業づくりにおける手立ての共有
 - ・心に響く道徳授業の展開（導入前→導入→展開の前段・後段→終末）の工夫
 - ・資料選択と資料提示の工夫
 - ・発問の工夫
- ② 心を育てる教育環境の整備
 - ・事前児童アンケートによる実態把握
 - ・掲示物の工夫
- ③ 道徳性を育む教育活動の見直しと道徳授業との関連付け
 - ・Q-Uや新道徳性検査（HUMANⅢ）を活かした学級づくりと年間指導計画の作成と見直し
 - ・体験活動と関連させた「道徳学習プラン」の作成
 - ・道徳的実践の場としての特別活動の見直しと心シートを活用した振り返りの工夫



授業づくりの演習

5 成果と課題

いじめや不登校、学力格差等、学校現場の課題が山積する中、道徳の教科化にかける期待には大きいものがある。人間如何に生きるべきか問い続け、よりよく生きようとする人間性、道徳性を育てるためには、社会全体のしくみ、日常の社会生活の中で醸し出される雰囲気等、今生きる大人自身が人任せにせず真剣に考えなくてはいけない課題である。そんな中、道徳の教科化を踏まえ、豊かな体験活動を地域と共に実践しながら、道徳教育という視点から全教育活動を見直し、道徳の授業を要とした実践研究を積み重ねてきたことは、教育活動への新たな意味づけと子どもたちのよさや可能性の新たな発見へとつながるものとなった。今後は、道徳授業の一層の充実を図りながら評価についての理解とその実践を深めていく。